

## 地区計画の区域内における行為の届出書

年 月 日

牧之原市長

届出者 郵便番号  
住 所  
氏 名  
連絡先

都市計画法第58条の2第1項の規定に基づき、

- |   |                  |
|---|------------------|
| <div style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">{</div> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 土地の区画形質の変更</li> <li><input type="checkbox"/> 建築物の建築又は工作物の建設</li> <li><input type="checkbox"/> 建築物等の用途の変更</li> <li><input type="checkbox"/> 建築物等の形態又は意匠の変更</li> </ul> | について、下記により届け出ます。 |
|---|------------------|

記

- 1 行為の場所 牧之原市 \_\_\_\_\_
- 2 行為の着手予定日 年 月 日 \_\_\_\_\_
- 3 行為の完了予定日 年 月 日 \_\_\_\_\_
- 4 設計又は施行方法（建築物の新築等の場合は、下記(2)欄記入）

地区計画名 <u>IC北側</u> 地区計画		地区名 _____			
(1) 土地の区画形質の変更		区画の面積 <span style="float: right;">m<sup>2</sup></span>			
(2) 建築物の建築又は工作物の建設	(イ)行為の種別 (建築物の建築・工作物の建築) (新築・改築・増築・移転)				
	(ロ)設計の概要	届出部分	届出以外の部分	合 計	
		(i) 敷地面積	/	/	m <sup>2</sup>
		(ii) 建築又は建設面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
		(iii) 延べ面積	(      m <sup>2</sup> )	(      m <sup>2</sup> )	(      m <sup>2</sup> )
(iv) 高さ 地盤面から _____ m	(v) 用 途				
		(vi) 垣又はさくの構造			
(3) 建築物等の用途の変更	(イ)変更部分の延べ面積		(ロ)変更前の用途	(ハ)変更後の用途	
	m <sup>2</sup>				
(4) 建築物等の形態又は意匠の変更					
その他参考となるべき事項		色彩（マンセル値） 屋根：                  外壁：			

地区計画届出書添付図書			届出者 チェック欄	市 チェック欄
1	届出書			
2	位置図	届出の場所がわかる図 1/2, 500 地形図など		
3	公図写			
4	求積図	敷地面積を確認します。		
5	配置図			
6	平面図	建築面積、延床面積を確認します。各階のもの。 縮尺 1/100 以上		
7	立面図	高さを確認します。 2面以上、縮尺 1/100 以上 形態又は意匠の制限がある場合は色彩（マンセル値）を表示		
8	設計図	垣又は柵を設置する場合は、構造、仕様、高さを確認します。 縮尺 1/100 以上		
9	委任状	土地所有者以外の者が届出する場合 （様式は問いません。）		
代理人氏名・連絡先				

備考

- 1 届出者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 建築物等の用途の変更について変更部分が二以上あるときは、各部分ごとに記載すること。
- 3 地区計画において定められている内容に照らして、必要な事項について記載すること。
- 4 都市計画法第12条の9に規定する内容を定めた地区整備計画の区域内における建築物の建築又は用途の変更については、次によること。
  - (1) 当該建築物の建築については、(2) (ロ) (iii) 延べ面積欄の ( ) の中に当該建築物の住宅の用途に供する部分の延べ面積を記載すること。用途の変更があわせて行われるときは、用途変更後の住宅の用途に供する部分の延べ面積を記載すること。
  - (2) 当該建築物の用途の変更については、(2) (ロ) (i) 敷地面積の合計欄及び(2) (ロ) (iii) 延べ面積の合計欄（同欄中の ( ) は用途変更後の当該建築物の住宅の用途に供する部分の延べ面積の合計欄）についても記載すること。
- 5 同一の土地の区域について二以上の種類の行為を行おうとするときは、一の届出書によることができる。